

トビケラ目 検索

											原色昆虫大図鑑	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	科名/亜科名	Family/Subfamily
1											ヒメトビケラ科ヒメトビケラ亜科	Hydroptilidae/Hydroptilinae
			4								クロツツトビケラ科	Uenoidae
		3		5							コエグリトビケラ科	Apataniidae
											エグリトビケラ科	Limnephilidae
			6	7							トビケラ科	Phryganeidae
											マルバネトビケラ科	Phryganopsychidae
				8							ヒメトビケラ科カメノコヒメトビケラ亜科	Hydroptilidae/Ptilocolepinae
					9	10					ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae
											カワトビケラ科	Philopotamidae
	2							12			クロツツトビケラ科	Uenoidae
									13	14	コエグリトビケラ科	Apataniidae
						11			15		エグリトビケラ科	Limnephilidae
										16	キタガミトビケラ科	Limnacentropodidae
											トビケラ科	Phryganeidae
											マルバネトビケラ科	Phryganopsychidae
							17				カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae
								18			ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae
											ヤマトビケラ科	Glossosomatidae
											ムネカクトビケラ科	Ecnomidae
			20								イワトビケラ科	Polycentropodidae
				21							シマトビケラ科	Hydropsychidae
		19			22	23					アミメシマトビケラ科→シマトビケラ科	Arctopsychidae
						24					キブネクダトビケラ科	Xiphocentronidae
											クダトビケラ科	Psychomyiidae
			25	26							ホソバトビケラ科	Molannidae
											ツノツツトビケラ科	Beraeidae
					28						ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae
				27		29					カタツムリトビケラ科	Helicopsychidae
							30				ケトビケラ科	Senicostomatidae
											カクスイトビケラ科	Brachycentridae
					31						アシエダトビケラ科	Calamoceratidae
						32					カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae
							33				ニンギョウトビケラ科	Goeridae
											フトヒゲトビケラ科	Odontoceridae
											シンデイトビケラ科	Dipseudopsidae

出典：「原色昆虫大図鑑Ⅲ」を改変（Oda）

見方

橙色で書いてある部分が検索の項目でYESという意味で、その下の水色の部分がNOを表します。また、番号は検索表の項目の番号です。例えば、2は「単眼を持っているか」という項目ですが、YESはクロツツトビケラ科からヤマトビケラ科までで、NOはムネカクトビケラ科からフトヒゲトビケラ科までという意味です。また、○、□、△で囲ってある項目は同じ内容の項目を示しています。

廊下のむし探検

<https://blogs.yahoo.co.jp/fushionotori1>
を参考に作成。一部改変（修正）

Tentoumus i



トウヨウウスバキトビケラ

マルバネトビケラ

シロフツヤトビケラ

エグリトビケラ科／トウヨウウスバキトビケラ



マルバネトビケラ科／マルバネトビケラ



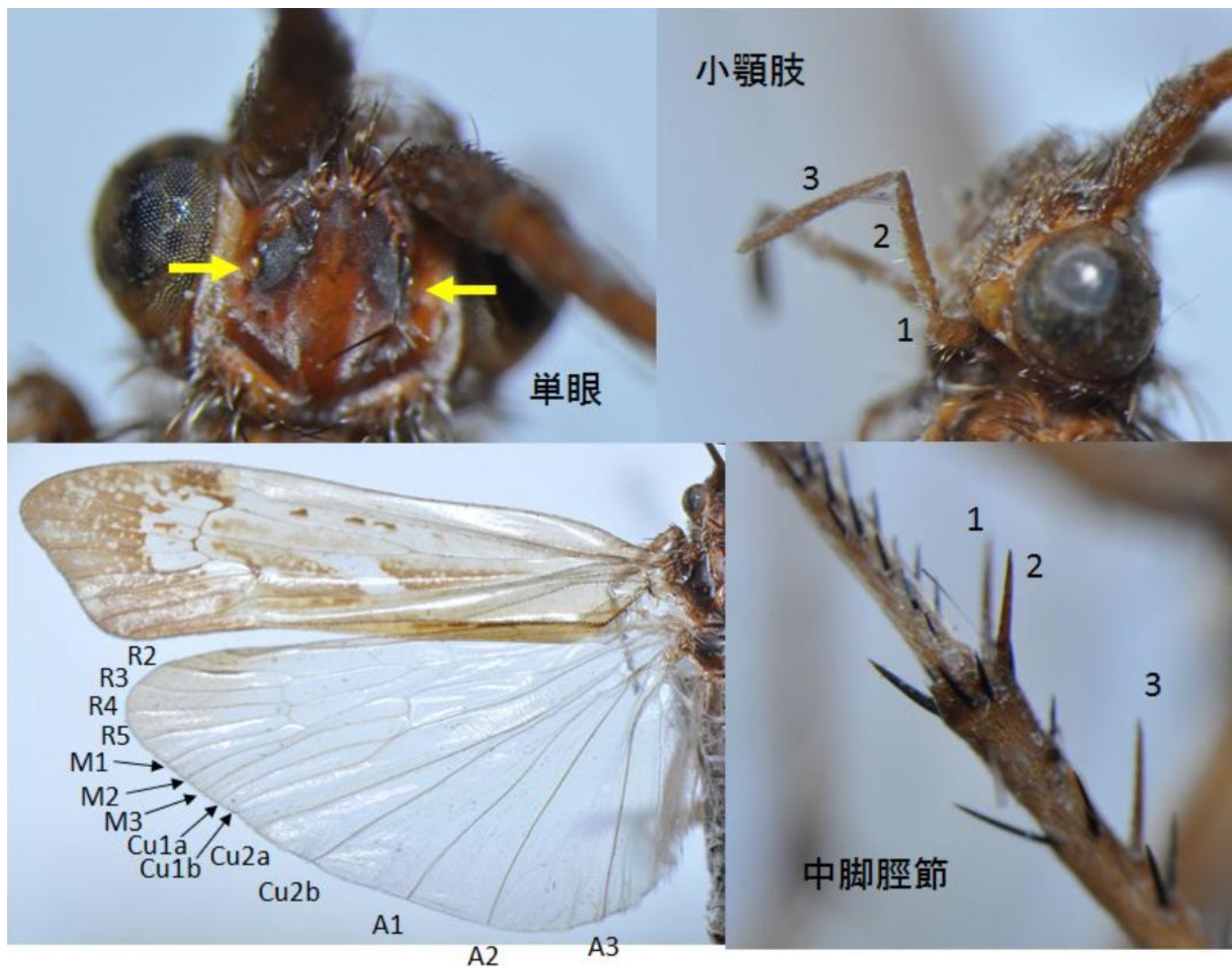
アミメシマトビケラ科／シロフツヤトビケラ



←注：現シマトビケラ科シロフツヤトビケラ

トビケラの検索で重要な項目は、1)単眼の有無、2)小顎肢の節数、3)脚の距棘の数、それに、4)中胸小盾板の隆起です。今回の検索では、そのうち、1)、2)、3)を使います。

トウヨウウスバキトビケラ



エグリトビケラ科であることを知るには、
自明な①を除くと

② 単眼があるか	YES
③ 小顎肢が3節か	YES
④ M脈は1本か	NO
⑤ 距式は1-2-2か、1-2-4か	NO

単眼は2つあります。小顎肢（しょうがくし）は口の周りにある髭でさまざまな感覚器が付いています。これが3節でできています。また、M脈（仮称）3本に分かれています。さらに、距式は脚の距棘の本数で、前脚は1本、中脚では3本、後脚では4本なので、1-3-4と書いてエグリトビケラ科

一覧表の
トップへ

マルバネトビケラ



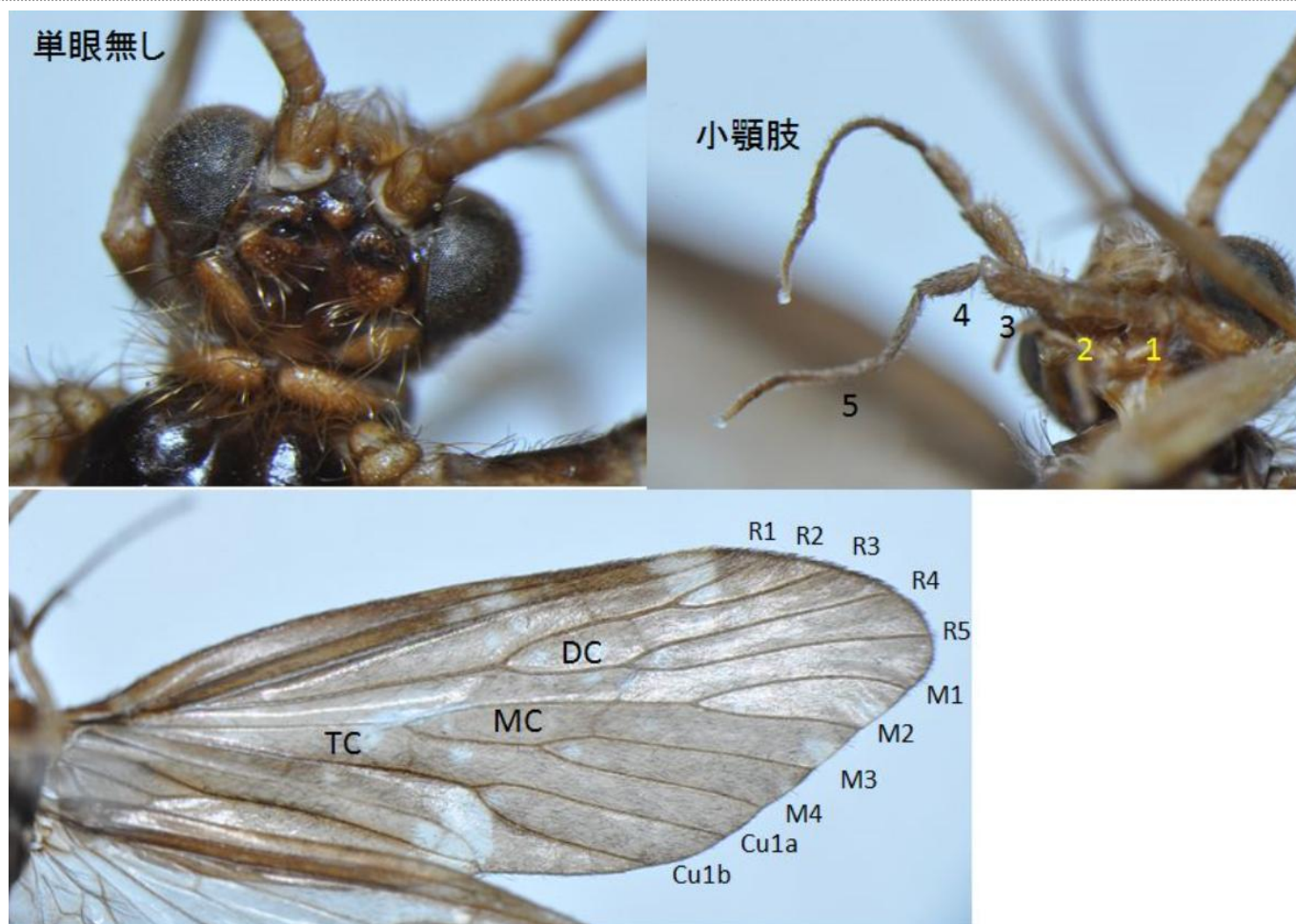
次の4つの項目でマルバネトビケラ科に到達します。

②	単眼があるか	YES
③	小顎肢が3節か	NO
⑥	小顎肢が4節か	YES
⑦	前翅は長楕円形で、黄色の地色に褐色の網目模様があるか。前翅と後翅の外形は違うか、等々	NO

単眼は2つ、小顎肢は4節、前翅と後翅の外形はだいたい同じという特徴から
マルバネトビケラ科

一覧表の
トップへ

シロフツヤトビケラ



全部で6つの項目で到達します。

②	単眼があるか	NO
⑱	小顎肢の第5節は長く柔軟で鞭状	YES
⑳	R1は分枝するか	NO
㉑	前翅のDCはMCより長い	NO
㉒	前翅のTCは大きい。後翅の幅は前翅と同じか大きい	YES
㉓	前翅と後翅はほぼ同じ大きさか	YES

単眼はありません。また、小顎肢は5節に分かれ、第5節目は長く鞭状になっています。DC、MC、TCは翅室を表し、その大きさを分類をしています。

一覧表の
トップへ

DC、MC、TCの意味を調べてみました。DCはdiscoidal cellの略で中国語では「盤室」、MCはmedian cellの略で「中室」、TCはthyridial cellの略で中国語では「明斑室」または「明斑後室」となっていました。日本語での用語が分からなかったのも、中国語の論文を探してみました。）（追記2：ついでに、"thyridial"という単語も調べてみました。この単語はすでに1895年の脈翅類に関する論文で使われ、また、その名詞形の"thyridium"は1850年台のトビケラの論文に出ていました。Merriam-Websterというon-line辞書によれば、ギリシャ語で窓を表す"thyridion"から来ているようで、膜翅類、毛翅類の昆虫の翅にある白いスポットを指す用語として使われたようです。）.....出典：廊下のむし探検 <https://blogs.yahoo.co.jp/fushionotori1>